

令和2年度職員自己評価

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない	A	B	C	D	合計
【1 教育保育理念・教育保育方針・教育保育課程】					
教育保育理念・教育保育方針・教育保育課程を理解している	8	11	0	0	19
【2 指導計画】					
指導計画は教育保育理念・教育保育方針・教育保育課程を基に作成している	10	9	0	0	19
乳幼児の発達段階にあわせた指導計画を作成している	13	6	0	0	19
【3 教育保育環境】					
乳幼児のしたいことや、興味のあることを取り入れている	13	6	0	0	19
乳幼児の教育保育に、自然や施設を活用している	12	7	0	0	19
乳幼児の動きや視線の動きに気を配った環境の構成になっている	11	7	1	0	19
【4 教育保育の内容・方法】					
乳幼児の家庭での様子を参考にしながら、援助の内容を工夫している	13	6	0	0	19
遊びを通してルールを学んだり、我慢したりといった経験を積めるようにしている	15	4	0	0	19
乳幼児が意欲的に造形活動（描画・製作）をする時間を大切にしている	14	5	0	0	19
食べ物についての話をしている	14	4	1	0	19
【5 保育教諭の役割・資質向上】					
乳幼児の発達段階や興味・関心に応じた教育保育を心がけている	10	8	1	0	19
全体の中でも、一人一人を大切に受け止めた指導を心がけている	12	7	0	0	19
その場にふさわしい言葉づかいができる	5	12	2	0	19
【6 保護者との連携】					
保護者から寄せられた具体的な意見や要望に、適切に対応している	12	6	1	0	19
行事予定やクラスだよりなど、情報を適切に伝えることができている	12	7	0	0	19
【7 子育て支援】					
保護者の子育てについて相談にのっている	13	4	2	0	19
家庭での情報を把握し、保護者との相互理解を深めている	13	4	2	0	19
【8 その他】					
乳幼児や保護者のことを園の外で話題にしない	15	4	0	0	19
園の施設の安全点検、衛生管理をしっかり行っている	16	2	1	0	19
就業規則を遵守し、社会人としてのルール及びマナーを守っている	17	2	0	0	19

園自己評価

1について理念や方針等を近年刷新したが少しづつ浸透しつつあるのが見える。

2で肯定的な評価が多いところを見ると職員が長年の経験を基に保育を進めているように考えられる。

3.4はまだまだ良い保育をしたいという職員の思いが垣間見えた。

5の言葉づかいについて仕事に余裕がなくなると荒い言葉を発したりすることだった。仕事に余裕ができるように職員体制や保育内容を見直す必要があると感じた。

6.7は保護者との距離感に悩みを感じている職員が多かった。

8は衛生管理をさらに徹底したほうが良いという意見が多かった。

全体的に去年より評価が上向いてきている。Aに向かうべく職員同士が日々研鑽していくように促していく。